

## 2018年度\_DPCデータに基づく病院情報の公表

### ●DPCデータに基づく病院情報の公開

当院では、厚生労働省による全国統一の定義に従い、当院の入院患者さんのDPC（診断群分類による包括支払制度）のデータを集計した『病院情報の公表』を行っております。

今回の集計の対象は平成29年度（平成29年4月から平成30年3月まで）の1年間に当院を退院された患者さんのデータです。

ただし、24時間以内に死亡された方、労災保険や自費診療、DPCによる計算対象外の患者さんのデータは除きます。

### ●年齢階級別退院患者数

年齢区分	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
患者数	-	24	40	82	156	327	707	1,297	1,177	221

### 【定義】

2018年4月～2019年3月に退院された患者さんの年齢を10歳刻みで集計しました。

最終的に当院を退院した段階で症例数をカウントしています。

### 【解説】

横浜市の統計から平成23年の65歳以上の割合が20%であったが平成28年度には23.38%と高齢化が進んでいることが伺え、これは、いわゆる団塊の世代と呼ばれる階層が平成27年度には65歳以上、平成37年度には75歳以上になるなど、高齢化が進んでいることが要因と考えられます。

●診断群分類患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

【内科】

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 - 1 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	296	2.24	3.01	0.00	72.38
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 - なし、1,2 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	240	3.42	4.47	0.00	72.87
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病なし	201	2.02	2.67	0.00	66.04
010160xx99x00x	パーキンソン病 手術なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	74	25.47	17.67	0.05	75.41
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	69	23.19	17.66	0.07	81.30

【定義】

- ・各診療科別に患者数の多いDPCコードについて、患者数や平均在院日数を集計しています。
- ・同じ疾患に対し複数の診療科で診療を行った場合も、最終的に退院した時点の診療科で集計しています。

【解説】

当院の標榜診療科”内科”は総合内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、呼吸器内科、神経内科に分かれており、より専門的な医療を提供しております。

1位・2位と狭心症の患者さんが多く、心臓を栄養している動脈が細くなったり、詰まったりしていないかを調べる心臓カテーテル検査を試行し、その結果をもとに手術の適応があるかを判断し、冠動脈ステント留置術等の手術を試行しています。全国の病院と比べると在院日数（入院期間）が短く、患者さんの入院に対する負担が少なくなるよう努めています。

【外科】

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病なし	49	2.02	2.67	0.00	70.16
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	43	4.00	4.96	0.00	68.60
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置 等2なし 副傷病なし	32	5.28	7.30	0.00	61.19
060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	24	6.58	7.75	0.00	54.00
060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手 術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	24	15.42	15.30	0.00	76.96

【解説】

患者さんの病態に応じて手術の必要性を判断し、内視鏡下、腹腔鏡下での手術を施行しています。手術に伴う身体への負担を極力軽減できるよう努めています。

【整形外科】

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
070370xx99xxxx	脊椎骨粗鬆症 手術なし	16	52.75	21.47	0.00	85.25
160800xx99xx0x	股関節大腿近位骨折 手術なし 副傷病なし	13	38.77	14.45	0.23	78.08
070230xx99xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 手術なし	13	23.69	13.64	0.00	74.77
070160xx01xxxx	上肢末梢神経麻痺 手根管開放手術等	-	-	4.83	-	-
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。） 手術なし 副傷病なし	-	-	19.61	-	-

【解説】

1位に脊椎骨粗鬆症の手術試行なしが多く、次いで股関節大腿近位骨折・大腿骨転子部骨折等の手術試行なしの患者さんであった。連携医療機関と協力をしながら、手術後に患者さんがより早く日常生活に戻るよう努めています。

【眼科】

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	94	2.00	2.84	0.00	77.48
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	-	-	5.39	-	-
010160xx99x00x	パーキンソン病 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	17.67	-	-
020370xx99xxxx	視神経の疾患 手術なし	-	-	10.63	-	-
070370xx99xxxx	脊椎骨粗鬆症 手術なし	-	-	21.47	-	-

【解説】

白内障、水晶体の疾患の患者さんが圧倒的に多く、その他の疾患では10症例未満となっています。白内障の患者さんは高齢であること、また他の疾患を抱えていることが多く、眼科だけでなく他の診療科と協力しあいながら患者さんの状態に見合った、その時度の優先度の高い治療をすすめています。

【皮膚科】

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
080020xxxxxxxx	带状疱疹	19	7.63	8.98	0.00	76.37
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外） 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等 2 なし	-	-	8.16	-	-
180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	-	-	6.33	-	-
161000x199x0xx	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷（Burn Index10未満） 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	11.89	-	-
080050xxxxxxxx	湿疹、皮膚炎群	-	-	10.30	-	-

【解説】

带状疱疹が症例数上位1位であり、他は症例数10件未満となっています。

●初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	再発
胃癌	-	-	-	27	-	-
大腸癌	-	15	16	-	-	15
乳癌	0	-	-	-	0	-
肺癌	0	13	13	10	-	-
肝癌	0	0	0	-	-	-

●成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均在院 日数	平均 年齢
軽症	11	8.0	44.3
中等症	43	22.7	81.6
重症	12	25.8	80.3
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

日本呼吸器学会の成人市中肺炎診療ガイドラインに基づき患者さんの状態を軽症、中等症、重症、超重症に分けています。軽症な患者さんは主に外来での治療、中等症の患者さんは外来または入院での治療、重症の患者さんは主に入院での治療、超重症の患者さんは集中治療室（ICU）での管理が必要とされています。当院では主に中等症の患者さんを多く診ています。

●脳梗塞のICD 1 0 別患者数等

ICDコード	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	転院率	平均年齢
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	0			
		その他	0			
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	0			
		その他	0			
I63\$	脳梗塞	3日以内	24	23.75	74.83	0.33
		その他	14	33.86	79.14	0.43
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	0			
		その他	0			
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	0			
		その他	0			
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	0			
		その他	0			
I679	脳血管疾患, 詳細不明	3日以内	0			
		その他	0			

【解説】

患者数としてはほとんどが脳梗塞の患者さんとなっています。当院では脳梗塞の急性期治療後に積極的にリハビリテーションを行うことのできる体制の確保に努めております。脳梗塞のリハビリテーションは後遺症からの回復をはかるのと同時に、再発や合併症を防ぐためにも早期に開始することが非常に重要です。



●診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

【内科】

Kコード	名称	患者数	平均日数		転院率	平均年齢
			術前	術後		
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	196	0.35	2.34	0.01	72.16
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	191	0.03	1.02	0.00	66.07
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	76	0.70	7.01	0.01	74.66
K610-3	内シャント設置術	28	5.71	8.54	0.00	70.89
K5463	経皮的冠動脈形成術（その他）	26	0.23	2.81	0.00	78.12

【解説】

当院では心臓を栄養している冠動脈の狭窄に対する治療として用いられる、経皮的冠動脈ステント留置術が最も多いです。続いて消化・吸収を担っている胃や大腸にこぶのようにできたポリープを切除し、切除したこぶがどのような性質のものなのかを病理検査をして今後の方針を決定する内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術があげられます。

【外科】

Kコード	名称	患者数	平均日数		転院率	平均年齢
			術前	術後		
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	84	0.98	1.96	0.00	67.88
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	47	0.45	2.85	0.00	70.21
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	36	0.83	3.47	0.00	61.61
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	27	0.00	1.00	0.00	66.15
K6335	鼠径ヘルニア手術	24	0.92	2.25	0.00	72.79

【解説】

鼠径ヘルニア手術、内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術、腹腔鏡下胆嚢摘出術が上位をしめています。

【整形外科】

Kコード	名称	患者数	平均日数		転院率	平均年齢
			術前	術後		
K0462	骨折観血的手術（前腕）	18	1.67	1.00	0.00	65.39
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（前腕）	17	1.00	1.00	0.00	54.06
K0461	骨折観血的手術（上腕）	-	-	-	-	-
K0302	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（手）	-	-	-	-	-
K1882	神経剥離術（その他）	-	-	-	-	-

【解説】

症例上位を骨折観血的手術（前腕）、骨内異物（挿入物を含む）除去術（前腕）が1位・2位となっており、骨折観血的手術（上腕）、四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（手）、骨折観血的手術（下腿）は症例数が10件未満となっています。

【眼科】

Kコード	名称	患者数	平均日数		転院率	平均年齢
			術前	術後		
K2821□	水晶体再建術（眼内レンズを挿入）（その他）	369	0.05	1.03	0.00	77.12
K2801	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含む）	-	-	-	-	-

【解説】

症例数のほとんどが水晶体再建術です。

●その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	38	0.01
		異なる	-	-

【定義】

- ・この指標は、医療の質の改善に資する指標として、播種性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌感染症、手術・処置等の合併症について、症例数及び発生率を集計しています。
- ・入院時の傷病名に対しての治療が退院時まで行われ、医療費の請求を当該傷病名で行った場合は「同一」に、別な傷病名で入院したものの途中から病態の変化により上記いずれかの傷病名で医療費の請求が行われた場合は「異なる」に分類しています。

【解説】

手術・処置等の合併症とは、人工透析のシャント閉塞、人工関節のゆるみ等の機械的な合併症によるものに多く見られます。臨床上ゼロにすることは難し疾患ではありますが、当院では少しでも改善できるように努めています。